

新しいまちづくり、始めます。

〔竹原市第6次総合計画 策定〕

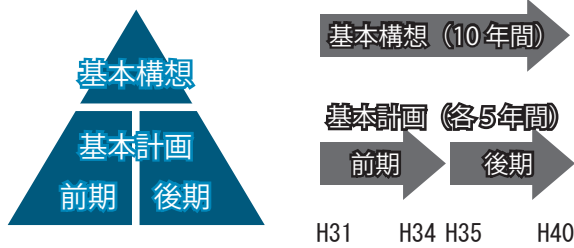
本格的な人口減少社会の中、本市が持続可能な都市として発展するため、10年間の行政運営全体の指針とする『第6次竹原市総合計画』を策定しました。

この計画に基づいたまちづくりを進め、市民一人一人が、本市に生まれて良かった、住んで良かったと実感し、進学や就職等で転出した人や本市にゆかりや関心のある人が、帰ってきたい、住んでみたいと思える元気な竹原市の実現を目指します。

Check!

総合計画の構成と期間

総合計画は、本市の目指すべき将来像を示す10年間の「基本構想」と、その将来像の実現に向けた取組を示す5年間の「基本計画」の2つで構成。



10年後の竹原市の姿(将来都市像)を次のとおり掲げ、まちづくりを進めます。

10年後の竹原市の姿(将来都市像)

元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。

“元気”は、市民の誰もが「いきいきと活躍する姿」と本市の魅力を活かした交流や産業による賑わうまち」を表現しています。

“笑顔”は、市民の「安全・安心で快適な心地いい暮らし」と互いに支え合う優しさ」を表現しています。

あふれる元気と輝く笑顔が“幾重にも重なり”、市民一人一人が“たけはら暮らし”が“誇らしい”と思う。

本市は、
「生まれて良かった、住んで良かった、帰ってきたい、住んでみたい」と思える元気な竹原市の実現に向け、
『誰もが住みやすいと実感し、誇らしく思えるまち』を目指します。

重点施策

「たけはら元気プロジェクト」

テーマを「元気」として、本市の財産「人」と「地域資源」の融合による魅力を活かした賑わいを創出するため、新たな人の流れをつくり出す人々を“呼び込むちからづくり”と、地域を支え活躍する多様な人材を増やし、地域力を高める“育てるちからづくり”を推進します。

呼び込む“ちから”づくり

- 歴史を活かしたまちづくりの推進
- 観光・交流の更なる推進
- 移住・定住の促進

育てる“ちから”づくり

- 地域における子育て前から子育て期までの支援の推進
- 地域力の強化

将来都市像実現への重点テーマ

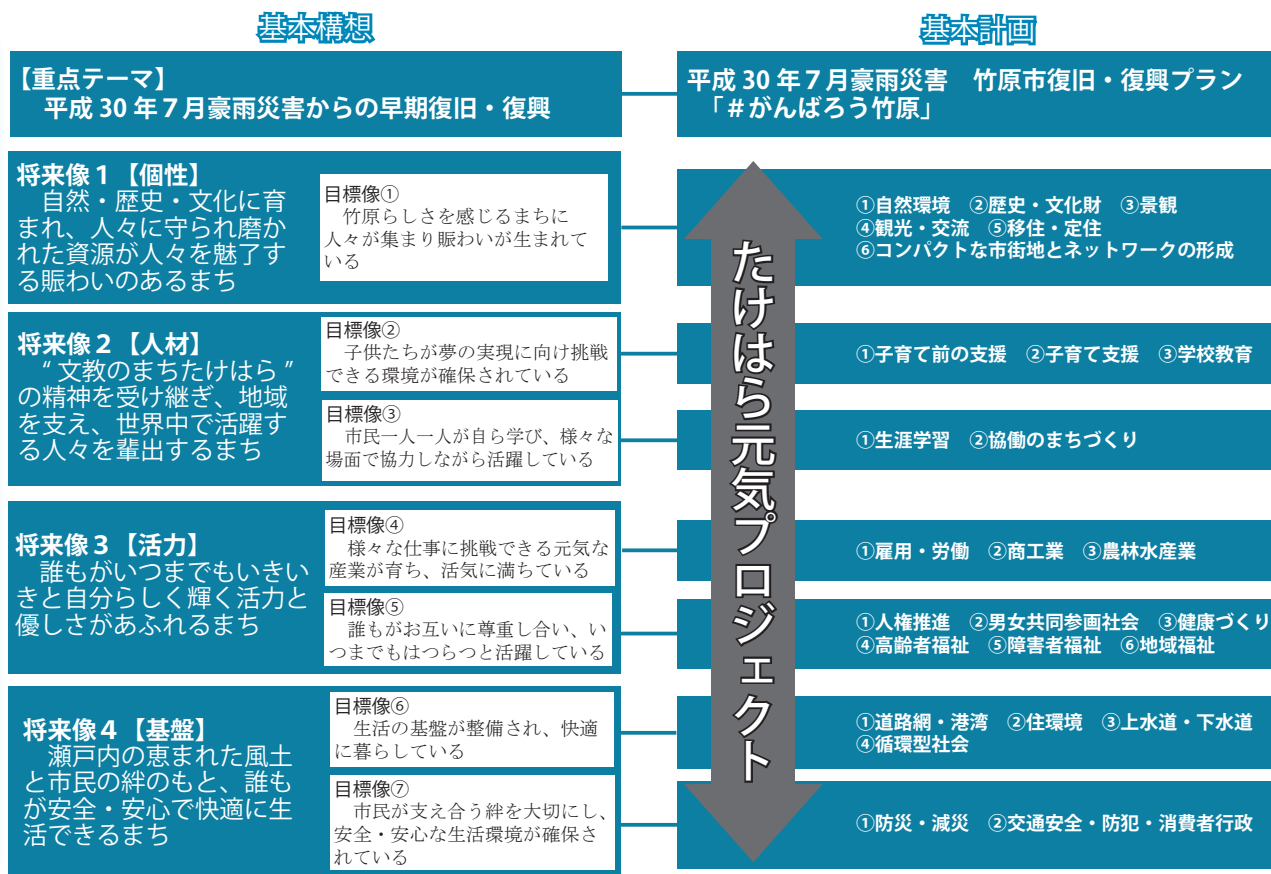
「平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興」

将来都市像の実現には、災害からの早期復旧・復興が欠かせないことから、これを重点テーマとして設定し、取組を推進していきます。



第6次竹原市総合計画体系図

元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。



『持続可能な行財政運営の確立』に取り組みます

第6次竹原市総合計画の将来都市像の実現に向けた取組を下支えするものとして、「竹原市行財政経営強化方針」を策定しました。目指すべき行財政運営の理念を『持続可能な行財政運営の確立』とし、基本理念の実現のため『3つの基本的視点』を持ち、これまでの取組を継続しつつ、職員一丸となって不断の改革・改善に取り組みます。

3つの基本的視点

1 市民起点

市民目線に立って物事を判断し考え、スピード感をもって行動します。

2 未来思考

考える視点を未来に置き、現状の考え方や行動にとらわれない思考や発想によって課題解決に取り組みます。

3 改善意識

一人一人が日々の業務に対して改善の意識をもち、行政サービスの維持向上を図ります。

基本的視点のもと、4つの基本方針に沿った取組を着実に推進します。

④持続可能な財政基盤の確保

- 計画的な財政運営
- 歳出の管理 ○歳入の確保



①市民目線に立ったまちづくりの推進

- 多様な機会を捉えた市民とのコミュニケーションの推進
- 効果的な情報発信の推進 など

竹原市

行財政経営強化方針

平成31年度～平成35年度

③効率的・効果的な組織の構築

- マネジメントの強化
- 業務改善の推進
- 情報共有による組織力の強化 など

②行政サービスの質的向上

- 行政手続きの利便性の向上
- 信頼される市役所づくりの推進 など

問い合わせ

企画政策課秘書企画係

☎ 22-0942